



布目ダムは、私たちの暮らしと大きな関わりを持っています。

布目ダムは、奈良県の北東部を流れる布目川に造られた多目的ダムです。布目川は、奈良市都祁地区(旧都祁村)と天理市北部を源とし、山添村、奈良市東部地区を流れ、笠置町で木津川に合流して大阪湾へ注ぎます。布目ダムの目的は

- ①洪水調節
  - ②河川環境の保全等
  - ③新規利水
- の三つがあります。また、管理用発電として、水力発電を行っています。

●洪水調節

台風や大雨により大水が出た時、たくさん水が川に流れないように流れてくる水の一部をダムに貯め洪水による被害の軽減を図ります。



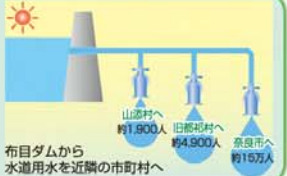
●河川環境の保全等

河川の水が不足するときは、ダムに貯めている水を補給して川の流れを安定化させ、河川環境の保全を図るとともに既得用水の取水が出来るように、下流河川の流量を確保します。



●新規利水

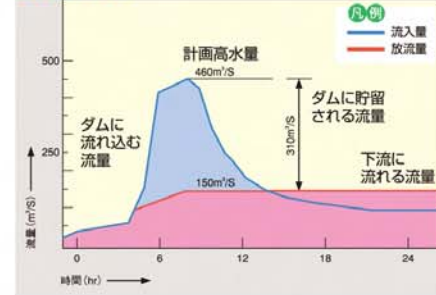
水道用水として、  
 ・奈良市へ最大1.08m³/s  
 ・旧都祁村へ最大0.0463m³/s  
 ・山添村へ最大0.0097m³/s  
 の取水を可能にします。



■布目ダムの諸元

河川名	淀川水系布目川	
位置	左岸:奈良県奈良市北野山町 右岸:奈良県奈良市丹生町	
貯水池	流域面積	75.0km²
	湛水面積	0.95km²
	総貯水容量	17,300千m³
	有効貯水容量	15,400千m³
ダム本体	型式	重力式コンクリートダム
	堤高	72.0m
	堤頂長	322.0m
わきダム	型式	ロックフィルダム
	堤高	18.4m
	堤頂長	128.0m
	堤体積	271,000m³

■洪水調整図



■発電もしています

ダムから流す水を利用して、発電(水力発電)をしています。発生した電気は、布目ダムで使うほか、余った電気は一般の家庭へ送られています。最大990kWの発電ができ、これは約2,300戸分になります。



学ぶ、憩う、布目ダムの周辺はさまざまな施設が整備されています。

貯水池の周辺には各所に公園、遊歩道、休憩所が設けられ、ダムを訪れた人達が豊かな自然のなかで水と親しむことのスペースが作りだされています。また水没地にあった石仏は、ダム周辺に移され近隣の人たちに親しまれています。

① ダムまほろば広場(左岸)



② 貯水池の噴水



良好な水を供給するための水質保全施設です。

③ 副ダム貯水池



貯水容量の保全と水質保全、水質性機能の向上を目的とした施設です。

④ 桐山さざなみ広場



釣機橋、多目的広場、磨崖仏、ゲートホール場。

⑤ B&G海洋センター



⑥ 大橋のぼの公園



主な観光案内窓口



奈良市観光協会 Tel:0742-27-8866  
 奈良市都祁行政センター Tel:0743-82-0201  
 山添村役場 総務課 Tel:0743-85-0041



水がささえる豊かな社会 株式会社 水質環境機構  
 〒830-1234 奈良県奈良市北野山町869-2  
 TEL 0742-94-0231 FAX 0742-94-0925  
 URL http://www.water.go.jp/narashi/kizugawa/index.html

自然を満喫する、ひととのふれあいを楽しむイベントカレンダー



雪化粧の布目ダム

ツアー・オブ・ジャパン 奈良ステージ  
 布目ダム湖周辺  
 国際自転車競技連合公認のアジア最高峰位ステージレース(国内6ステージ)のうち、奈良ステージが緑と湖の美しい布目ダム湖周辺で開催。

ほんなら釣り祭 布目湖釣り大会  
 布目ダム湖周辺  
 (主会場:桐山さざなみ広場)  
 釣り大会、バーベキュー、魚の手づかみ、お楽しみ抽選会などが行われます。  
 問合せ:布目川漁業協同組合 TEL:0743-86-0450  
 山添村地域振興課 TEL:0743-85-0970

布目ダム 周辺クリーンキャンペーン  
 布目ダム湖周辺を地域住民の方々と湖周辺のゴミ清掃・美化活動。  
 問合せ:布目ダム管理所

牛ヶ峰コスモス公園

副ダムのアジサイ

やまぞえ布目ダムマラソン  
 布目ダム湖周辺(スタート:桐山さざなみ広場)  
 ・3kmコース  
 ・15kmコース(3km×5周)  
 ・駅伝の部があります。  
 問合せ:山添村地域振興課 TEL:0743-85-0970

絆の時期はおすすめです。

布目ダム見学会  
 布目ダム内部の見学会。ダムの説明、ビデオ上映後、ダム内部の見学  
 問合せ:布目ダム管理所

カヌー教室 B&G海洋センター

東山なつまつり  
 布目ダム副ダム周辺。

古の鼓動に出会う歴史散策

布目ダムの建設によって、この地の数々の磨崖仏の水没を免れるため、巨岩が切りはなす等の工夫をして、現在の場所に安地されている。

南北朝(1333~) 室町(1392~) 江戸(1603~)

- 大橋阿弥陀磨崖仏
- 鳥ヶ淵阿弥陀二尊地蔵磨崖仏
- 十九夜観音石仏
- 大橋首切り地蔵
- 鳥ヶ淵地蔵磨崖仏
- 竹の倉地蔵磨崖仏
- 牛ヶ峰六地藏磨崖仏
- 地蔵立像
- 牛ヶ峰新橋地蔵磨崖仏